

緊急来日

特別講義&ワークショップ

Cutting Edge of Folk Music : Exoticization of Exoticism in Serbian Hip-hop Scene

民俗音楽の最前線——セルビア・ヒップホップシーンにおける異国趣味の異国趣味化

ゲスト：Coby ツォビ（ラッパー/音楽プロデューサー） from Serbia/Balkan



東欧の旧社会主義国セルビアにおいて 2010 年代以降、ヒップホップをメインストリームの音楽文化に押し上げ、今現在バルカン全域で「最も」支持を得ているラッパー/音楽プロデューサーである **Coby ツォビ** の緊急来日が決定！

ツォビ（1985-、セルビア南部 Prokuplje 出身）が手掛けるのは単なるヒップホップではない。

彼は **トラップ・フォーク (trap-folk)** の先駆者であり、近年では **異国趣味的な眼差し** が反映されたローカルな **フード・フォーク (hood-folk)** を創出してきた。（※トラップ及びフードはヒップホップから派生した音楽ジャンル）

若中年層に広く支持され、YouTube 公式の Serbia: Weekly Top Music Videos（5月6～12日）において5曲がラインクイン中。

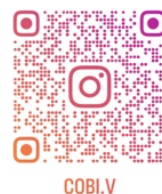
2023年には旧ユーゴ諸国の最も優れたアーティストらに授与される音楽賞を獲得。ブルガリアやボスニア・ヘルツェゴヴィナ等のバルカン各国のラッパーたち、セルビアの民謡歌手・ポップ歌手・民俗楽器奏者らとの共演も多く、国境もジャンルも越えた音楽活動を展開している。

1990年代、**NATO空爆をともなう戦禍の中（すなわちセルビア版ゲットー）** で育ったツォビ。他方、10代のツォビが当時影響を受けた米国ヒップホップをいかに消化し、セルビアのローカルな **フード・フォーク** へと昇華させたのか。文化受容の摩擦、音楽制作を通じたその過程、スターダムへの階段、ポピュラー音楽シーンにおける彼の現在地。

セルビア/バルカンらしさを体現し、hood-folk という **最前線の民俗音楽 (folk music)** を生み出すツォビとの対談&試演を通じて、これらのトピックを掘り下げます。

▶ ツォビ wikipedia ページ [https://en.wikipedia.org/wiki/Coby_\(musician\)](https://en.wikipedia.org/wiki/Coby_(musician))

▶ ツォビ YouTube プレイリスト <https://x.gd/DdKDp>



日時：2026年5月18日（月）17：30～19：30 / 入場無料 / 使用言語：日本語（通訳有）

会場：〒530-0005 大阪市北区中之島4丁目3-53 大阪大学中之島センター3階

中之島芸術センター「スタジオ」

ゲスト：ツォビ（Coby：ラッパー、音楽プロデューサー） from セルビア/旧ユーゴスラヴィア/バルカン

司会：上畑史（NIHU グローバル地域研究 東ユーラシア研究プロジェクト 国立民族学博物館拠点 特任助教）

主催：大阪大学中之島センター、KCUA 日本伝統音楽研究センター共同研究「音楽・芸能と『場』の研究」

問合せ：ke-saito@kcuu.ac.jp 齋藤桂（京都市立芸術大学（KCUA）日本伝統音楽研究センター・准教授）